

| 実施地域 (提案する管内に、○を付けてください。複数管内で実施する場合は、主として取り組む管内に◎、他の管内に○を付けてください。) | | 桑名管内 | 四日市管内 | ○ | 鈴鹿管内 |
|---|--|---|-------|---|--------|
| | | 津管内 | 松阪管内 | | 南勢志摩管内 |
| | | 伊賀管内 | 尾鷲管内 | | 熊野管内 |
| 事業内容 | ①課題把握 実施地域におけるNPO等に対する資源循環に関する現状と課題について記入してください。 | <p>(現状) 鈴鹿市に市民活動センターが無いと、地域の唯一の民設民営の中間支援団体として県内中間支援ネットワークに参加し、団体・行政・企業からの情報受発信を行うとともに、10グループ・団体の電話代行・事務所代行・事務局代行を行っている。規模は小さいが、グループ・団体の会合・教室・相談業務などに使用できるスペースを確保し、グループ・団体の活動の場を提供している。</p> <p>活動資源はITリーダーによるパソコン講習が主体で、鈴鹿市立図書館パソコン講習(鈴鹿市地域情報化推進事業協力)、公民館ITサークル支援、イベントスペースでのミニ講習、団体HP管理、鈴鹿市民活動情報サイト運営管理(鈴鹿市委託)鈴鹿建設高等職業訓練校IT講座担当、PC相談など多岐に亘っている。しかしながら10年間の累積短期借入金4百万円弱となり、健全化に向けて模索している。</p> <p>一方、亀山市は亀山市市民協働センターみらいを中心に市民活動支援と協働が行われている。きらめき亀山21の活動開始は当団体と同時期で初期交流は深かったが、現在は夫々の活動が主体になっている。</p> <p>(課題) やすらぎくんネット事務局を担当し、「夏の鈴鹿川体験」(8月)、「鈴鹿川流域の環境展」(1月)などのイベントを通して、鈴鹿市・亀山市・鈴鹿県民センターとの協働、企業、グループ・団体の広域環境ネットワークを運営管理している。また広域連合事業の地域包括支援センターの地域活動への協力を通して、或はハートフル・アクセスの事務所として鈴鹿市・亀山市の新規採用職員研修でのユニバーサルデザイン体験講習を通して福祉に関する広域性を保っている。しかし、中間支援グループとの交流は殆どなく、他のジャンルとのネットワーク構築が今後の課題である。</p> | | | |
| | ②事業の具体性 ①で挙げられた課題を解決するための事業として、提案する事業内容を具体的に記載してください。 | <p>団体間の交流を深め、ネットワークを構築し、鈴鹿・亀山地域のボランティア・市民活動をより活発になるように支援する。そのため、事務局員1名を採用し、中間支援団体の活動把握、関係グループ・団体への活動参加経験を経て団体訪問交流を行う。鈴鹿市では、社会福祉協議会ボランティアセンター・国際交流協会・男女共同参画センターなど、亀山市では市民協働センター、きらめき亀山21、ねこの館などの訪問交流から活動するグループ・団体情報を把握し、ネットワークに繋げていくためのデータベースを作成する。</p> <p>更に、県内各市の市民活動センターを訪問交流し、設備・運営・管理を学ぶ。また、事務局員としてITリーダースキル修得が必須である。</p> | | | |
| | ③事業の成果 事業を実施することにより期待される成果を記載してください。 | <p>事業推進により、鈴鹿市においては鈴鹿市民活動センター設置へのニーズが高まり、設置にたいして中間支援団体のノウハウを移入し、運営に寄与することができる。</p> <p>(鈴鹿市は多目的施設：地区センター・福祉ボランティアセンター・健康センター・市民活動センターなどの複合施設計画をもち、用地を確保しているとき聞いている。新しい公共の担い手、NPO法の改正など外部環境は整ってきているが、現在の社会状況を考えると実現性は不透明) 一方亀山市では、亀山市市民協働センターみらいの民営化にむけて中間支援団体の成長が期待できる。</p> | | | |

| | |
|---|---|
| <p>④事業の継続性・発展性</p> <p>委託事業終了後、どのように事業を展開していく予定か記載してください。</p> | <p>事業終了後も雇用を継続し、鈴鹿・亀山地区のボランティア・市民活動団体のネットワーク維持管理・更新を行い、コーディネーターとして更なる活動の活性化に寄与することを予定している。しかし当団体独自資金での継続雇用は難しく、鈴鹿市市民活動関係臨時職員とし派遣を薦め、合せて中間支援団体活動の継続に係わり、団体支援をおこなっていく予定である。</p> <p>事業遂行中に拡張される IT 事業（公民館 IT サークル支援・短期講習など）を継続し雇用継続資金を確保する。</p> |
| <p>⑤事業の予算の妥当性</p> <p>事業に必要な経費の積算の仕方の方考え方等について記載してください。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費の算定に当たっては、労働基準法などの法律を遵守する。 ・ 労働意欲を継続するため次年度昇給を予算化する。 ・ 作業環境整備にあつては必要備品・消耗品を新規整備する。 ・ 無駄を省き、事業終了後の継続を考慮した環境整備とする。 ・ 管理・指導が団体事業の負担となり、減収とならないように配慮する。 |
| <p>⑥事業の遂行能力</p> <p>提案する事業に関連して、貴団体が有する組織体制や専門性等について記載してください。</p> | <p>任意団体として3年、法人化して7年を経過し、中間支援団体としての経験が役立つ。運営は、日常業務を事務局中心で行い、月1回の運営会議と年1回の理事会が補佐している。ITリーダー、UDアドバイザー。地球温暖化防止活動推進員、鈴鹿市ボランティア連絡協議会員を含め、各種の専門家が参加しており、指導・管理運営が可能である。</p> <p>組織体制： 理事会（年1回開催、必要に応じ臨時開催）→運営会議（月1回開催、運営理事5名+事務局1名で構成）→事務局（常勤2名、非常勤4名で構成）</p> |

事業計画書

特定非営利活動法人市民ネットワークすずかのぶどう

平成23年10月1日～平成24年3月31日

| 年 月 | 平 成 2 3 年 度 取 組 内 容 |
|--|---|
| 23年10月 | 募集開始(1日)、面接・テスト(10日)、採用会議にて採用者決定(15日)、20日まで環境整備(備品・必要消耗品準備)、勤務開始(21日) |
| 23年3月末迄 | ①鈴鹿市・亀山市のジャンルごと活動支援組織の把握と訪問交流。 両市社会福祉協議会・ボランティア連絡協議会：国際交流協会、 鈴鹿市男女共同参画センター・NPO法人こどもサポート鈴鹿、 亀山市市民協働センター・きらめき亀山21など |
| 23年3月末迄 | ②中間支援団体活動把握： 電話代行・事務所代行・事務局代行団体(賛助団体)把握：やすらぎくんネット主催第11回鈴鹿川流域の環境展(24年1月)実行委員会(10月から月1回開催予定)に参加、ハートフルアクセスによる鈴鹿・亀山市内小中学校での福祉体験講座に参加、上記環境展にて地球クラブブース補助並びに事務局補助など。 「B-チャレンジ」(イベントスペース)利用しているグループの把握とチラシ作成補助、展示会打合せなどの支援など 2月末まで「鈴鹿市NPO支援講座」プロジェクト会議に参加(10月から月1回開催)、市報告書作成補助並びに鈴鹿市ボランティア・市民活動団体紹介パネル展準備補助。 |
| 23年3月末迄 | ③ITリーダースキル修得(ワード応用・エクセル応用習得・インターネット設定技能習得)、IT事業補助(公民館ITサークル支援、図書館・公民館IT講習、ミニ講習補助) |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 達成目標 | |
| <p>■平成23年度に達成しようとする成果を具体的に記載してください。 新規雇用人材育成を図り、当団体活動把握、ジャンルごとの中間支援団体を紹介し、自主的に訪問・交流が出来るようにする。またIT支援補助機会を与えてITリーダーとして自立できるようにする。その成果をもとに次年度のデータベース作成、亀山市・鈴鹿市への提言に結びつけることができる。</p> <p>■達成しようとする成果を測る具体的な指標 項目①(支援組織訪問) 目標値(10組織・月1回)／現状(5組織・年1回) 項目②(賛助団体参加) 目標値(5団体・月1回)／現状(2団体・月1回) 項目③(IT支援補助) 目標値(月4回)／現状(補助なし)</p> | |

| 年月 | 平成24年度取組内容(予定) |
|---|---------------------------------------|
| 24年4月開始 | ①「ぶどう通信」(月刊)に新規コーナーを開設、団体紹介・参加体験記事担当。 |
| 24年4月開始 | ②「夏の鈴鹿川体験」実行委員会(月1回)に参加、8月のイベント準備。 |
| 25年3月迄 | ①鈴鹿・亀山地域のジャンルごと団体交流会を企画・開催。 |
| 25年3月迄 | ①鈴鹿市市民活動情報サイトの充実を図り、登録団体を増やす。 |
| 25年9月開始 | ②「鈴鹿川流域の環境展」実行委員会(月1回)に参加、1月のイベント準備・ |
| 25年3月迄 | ③新規賛助団体の確保とIT相談業務補助。 |
| 25年3月迄 | ③鈴鹿・亀山地域のボランティア・市民活動団体データベース作成 |
| 成果目標 | |
| <p>■平成24年度に達成しようとする成果を具体的に記載してください。 鈴鹿市・亀山市市民活動データベースを作成し、そのプロセスのなかで亀山地域の中間支援を確立し、亀山市市民協働センターみらいの民営化提言を、鈴鹿地域の鈴鹿市市民活動センターの設立の必要性を提言する。</p> <p>■達成しようとする成果を測る具体的な指標</p> <p>項目①(支援組織訪問) 目標値(10組織・月1回) / 現状(5組織・年1回)</p> <p>項目②(賛助団体参加) 目標値(5団体・月1回) / 現状(2団体・月1回)</p> <p>項目③(IT支援補助) 目標値(月4回) / 現状(補助なし)</p> | |

様式第5号

新しい公共を支える資源循環の基盤づくり

委託事業終了後の計画

特定非営利活動法人市民ネットワークすずかのぶどう

①取組内容

事業終了後、ジェフリーすずかの市民活動関係臨時派遣職員として推挙し、当団体のノウハウを注入するとともに、グループ・団体の把握・交流を深めて次のステップ、鈴鹿市民活動センター設立に備える。一方、亀山市市民協働センターみらいを民営化し、より市民活動・協働の拠点として活用されるように、民営受入団体の推進を図る。

ITリーダーとして、新規公民館ITサークル支援、短期講座依頼に対応し、事業安定に寄与しながら、データベース更新を行う。委託により鈴鹿・亀山の市民活動情報冊子の作成が可能となる。団体としては、事務局員として既存の経験ある事務局員の作業負担を軽減することができ、新たに、認定NPOの問題、企業CSRとのタイアップ等の課題に取り組むこととなる。

また既存事務局員の負担軽減は事務局代行・事務所代行・電話代行等の業務を拡げ、より多くのグループ・団体を支援することができ、同時に賛助団体の増加が会費収入を増やすこととなり、より安定して鈴鹿・亀山地区の市民活動活性化に対応していくこととなる。